

昭和 24 年度 秋 日本鐵鋼協會 第 38 回講演大會開催御通知

概 要	期 日	講演	昭和 24 年 10 月 15 日 (土), 16 日 (日)
		見學	昭和 24 年 10 月 17 日 (月), 18 日 (火)
會 場	第 1 會場	八幡市	日本製鐵株式會社八幡製鐵所 本事務所第一會議室
	第 2 會場	同 上	技術研究所 講演室
	第 3 會場	同 上	技術研究所調査課室
出席費	金 100 圓也	(學生會員に限り金 50 圓)	御申込みと同時に御拂込み下さい
申込締切期日	昭和 24 年 9 月 30 日		
會 員 章	協會所定の會員章 (襟釦式) を御佩用下さい		

社 團 日 本 鐵 鋼 協 會
法 人

東京都千代田區丸ノ内 2 丁目 10 番地仲 14 館 1 號
電話丸ノ内 (23) 3626 番振替口座東京 193 番

1. 御案内 来る 10 月 15 日 (土), 16 日 (日), 17 日 (月), 18 日 (火) の 4 日間 八幡市 日本製鐵株式會社 八幡製鐵所で 本會第 38 回講演大會を開催し下記の通り工場見學をすることになりました。何卒奮つて御出席下さい。

2. 集 合 會場へは枝光驛降車の方が近路です、——出席會員は本會所定の會員章 (襟釦式) を佩用の上第 1 日 10 月 15 日は午前 8 時 45 分迄に第 1 會場 (八幡製鐵所本事務所) に參集入口受付にて配給引替券で講演大要その他をお受取り下さい。(會員章は當日受付で 1 個金 30 圓でお頒ち致します)

3. 晝 食 4 日間共お辦當は御持參下さい。

4. 見 學 今回は幸に下記の通り 10 月 17 日は A. B. C 三班に分れ 18 日には D. E. F. G 四班に分れ A 班 (終日八幡製鐵所を見學) の外何れも 1 日に三四ヶ所の工場を見學する事が出来る様になっています 兩日共何れかの班を指定して御申し込下さい。

5. 見學場所 會社名の次に (晝) 印を附してある處では晝食のお茶が用意してあります。

見 學 第 1 日 (24-10-17)		見 學 第 2 日 (24-10-18)	
班 別	見 場 學 所	班 別	見 學 場 所
A 班	▲八幡製鐵所 (晝) 9 時 30 分~15 時 第二製鋼工場 第二厚板工場 一分塊, 軌條工場 碓素鋼板工場 洞岡熔鑄爐 八幡市枝光——西鐵北九州枝光線 北本町 (本事務所前) 下車同所技術研究所集合 (業務) 製銑, 製鋼, 鋼材.	D 班	▲東洋製鐵株式會社戸畑工場 10 時~10 時 40 分 戸畑市汐井崎——西鐵北九州戸畑線終點 戸畑下車又は省線戸畑驛下車徒歩約 5 分 (業務) 罐詰用空罐, 雜罐 ▲日本水產株式會社戸畑支社 10 時 50 分~11 時 40 分 戸畑市汐井崎——順路同上 (業務) 水產物加工製氷, 冷凍 ▲八幡製鐵所戸畑ストリップ工場 (晝) 12 時~15 時 西鐵北九州戸畑線幸町下車 徒歩約 5 分 西門前集合 (業務) 熱延, 冷延, 帶鋼及びブリキ
B 班	▲黑崎窯業株式會社 (晝) 10 時~12 時 30 分 八幡市藤田——西鐵北九州本線 陣山下車 徒歩約 5 分 (業務) 耐火煉瓦, 耐火モルタル	E 班	▲門鐵小倉工機部 9 時 30 分~11 時 30 分 小倉市金田——西鐵北九州本線金田下車 徒歩約 5 分

	<p>▲安川電機製作所 13時～14時 八幡市藤田——省線黒崎驛下車又は西鐵北九州本線黒崎驛前（又は田町）下車徒歩約5分 （業務）電動機，附屬機器</p> <p>▲三菱化成黒崎工場 14時10分～16時 八幡市藤田五段新開——西鐵北九州本線黒崎車庫前下車徒歩約10分 （業務）硫安，醫藥品，コークス</p>		<p>（業務）各種車輛修理，鑄鐵，車輛部品</p> <p>▲小倉製鋼小倉製鐵所（晝）12時～15時 小倉市許斐町——省線小倉驛又は西鐵北九州本線小倉驛前下車 徒歩約10分 （業務）一般鋼材，二次製品</p>
C 班	<p>▲東海鋼業株式會社 9時30分～10時40分 若松市濱町開——若松渡船場より徒歩約15分 （業務）鋼板，條鋼</p> <p>▲九州造船株式會社 10時50分～11時50分 若松市濱町開——若松渡船場より徒歩約20分 （業務）鋼船，鑛山機械等</p> <p>▲日立製作所若松工場（晝）12時～15時 若松市惠比須通8丁目——若松渡船場より徒歩約20分 （業務）鋼材ロール，鑛山機器等</p>	F 班	<p>▲日立製作所戸畑工場（晝）10時～12時40分 戸畑市明治町——西鐵北九州枝光線沖臺通下車徒歩約5分 （業務）可鍛鑄鐵，鑄鋼品，車輛部品等</p> <p>▲三菱化成枚山工場 13時～15時 八幡市枝光——西鐵北九州枝光線枚山又は堂山下車徒歩約3分 （業務）板硝子，曹達類</p> <p>▲大和工業八幡工場 15時10分～16時 八幡市枝光——西鐵北九州枝光線枝光驛前又は省線枝光下車徒歩約2分 （業務）丸釘</p>
		G 班	<p>▲東京製鋼小倉工場（晝）10時～12時30分 小倉市砂津——西鐵北九州本線砂津又は富野下車徒歩約10分 （業務）鋼索</p> <p>▲東洋陶器株式會社 13時30分～14時30分 小倉市篠崎——西鐵北九州本線魚町下車徒歩約20分 （業務）衛生陶器，食器</p> <p>▲不二越壓延小倉工場 15時～16時 小倉市東港町——西鐵北九州本線大門下車徒歩約10分 （業務）壓延加工，鑄鋼品</p>

6. 出席申込及びその締切 本大會出席御申込みは ハガキ 又は全大の紙片（下記の紙片を直ぐ御利用になつてもよろしいです）に御面倒ながら，次のことを記載し且つ出席費金 100 圓（學生會員は 50 圓）を添へ 9 月 30 日の締切期日迄に本會へ到着するやう御發送を御願ひします。

〔備考〕實際講壇にお立ち下さる講演者の方は出席費は要しません。

7. 講演プログラム

第 I 會 場 第 1 日 (24-10-15)

時 間	講演 番號	講演題目及講演者
9.00～9.15	開 會 の 辭	實 行 委 員 長 角 野 尙 徳 君
9.15～9.35	會務報告及日本鐵鋼協會熱經濟研究部會報告	會 長 山 岡 武 君
9.40～10.00	日本鐵鋼協會鉄鐵部會報告	鉄鐵部會委員長 里 村 伸 二 君
10.05～10.25	全 製鋼部會報告	製鋼部會委員長 吉 川 晴 十 君

10.30~10.50	全	特殊鋼部會報告	特殊鋼部會委員長	石原善雄君
10.55~11.15	全	鋼材部會報告	鋼材部會委員長	湯川正夫君
11.20~11.40	全	鑄物部會報告	鑄物部會委員長	谷口光平君
11.45~12.05	全	鐵鋼二次製品部會報告(次で總會)	鐵鋼二次製品部會委員長	松永陽之助君

休憩 (中食)

13.00~13.20	1	豎爐による脱砒燒結に関する研究	東京大學教授 日本製鐵 K.K 技術部 同 同	工博 宗宮 尚行君 富永 寛君 池野 在輝君 秋原 友郎君
13.25~13.45	2	鐵鑛石の還元性に就て	日本鋼管 K.K 川崎製鐵所 同	工○佐々木 茂弍君 工 安達 春雄君
13.50~14.10	3	各地産鐵鑛石の組成及び性質に就いて	日本鋼管 K.K 川崎製鐵所	工 佐々木 茂弍君
14.15~14.35	4	廟兒溝鐵山の貧鐵鑛の鑛物的組成と其特性に就いて	日本磁力選鑛 K.K 取締役社長	原田 源三郎君

休憩 (10 分)

14.50~15.10	5	褐鐵鑛中の硫黄の存在状態とその脱硫に関する実験室的研究	日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所技術員	工 石光 章利君
15.15~15.35	6	グリナワルト状式燒結工場に於ける實測の結果	日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所 技術員	工○ 前原 繁君 諫 訪 章君
15.40~16.00	7	洞岡第 1 コークス爐の再開作業に就いて	日鐵八幡製鐵所製銑部第 2 コークス課	長谷場 七郎君
16.05~16.25	8	電氣爐に依る低磷銑鐵の製造に就て (1)	日本曹達・富山工場 工場長 同 同	工博○市川 直雄君 村上 明君 高井 清君

休憩 (10 分)

16.40~17.00	9	輪西製鐵所に於ける原料轉換と製銑作業に就て	日本製鐵 K.K 輪西製鐵所	工 小野田 武夫君
17.05~17.25	10	平爐天井温度の自記測定實驗	日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所 技術員	吉田 清三郎君
17.30~17.50	11	平爐熔解期に於ける燃料中 S の影響	日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所 技術員	工 石原 重利君

第 II 會 場 第 1 日 (24-10-15)

時 間 講演番號 講演題目及講演者

午前中第 I 會場に併合

13.00~13.20	12	洞岡第 4 高爐火入に就いて	日鐵八幡製鐵所製銑部第二製銑課	工 井上 誠君
13.25~13.45	13	(幻)熔鑛爐爐壁侵蝕狀況に就いて	日鐵八幡製鐵所製銑部第一製銑課	工 中村 直人君
13.50~14.10	14	(幻)鹽基性平爐に於けるドロマイタル爐床の變質並に侵蝕の機構について	室蘭工業專門學校 文部教官 同	○田中 章彦君 及 川 弘君
14.15~14.35	15	製鋼用ドロマイトクリンカーの品質改良について (2)	日鐵八幡製鐵所第二製鋼課ガス原料掛長 同 製鋼部試験掛長	○柴田 敏郎君 工太田 隆美君
休憩 (10 分)				
14.50~15.10	16	鹽基性電氣爐操業が非金屬介在物に及ぼす影響	K.K 日本製鋼所室蘭製作所	石塚 寛君
15.15~15.35	17	反射顯微鏡に依る電氣爐鋼滓鹽基度迅速判定法	K.K 日立製作所	新持 喜一郎君

15.40~16.00	18	電気爐溶解の統計學的研究 (1)	K.K 日立製作所清水工場	工	中村 元和君
16.05~16.25	19	(2) 鋼滓の研究 (2)	東京大學第一工學部助教授	工	芥川 武君
休 憩 (10 分)					
16.40~17.00	20	高爐滓の脱硫能について	日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所	技術員	○工一 戸 正 良君 工石 原 重 利君
17.05~17.25	21	熔鋼の酸化ポテンシャルに就て	新扶桑金屬 K.K 製鋼所	理博	大 中 都 四 郎 君
17.30~17.50	22	滿俺による脱硫に就て	日本製鐵 K.K 八幡製鐵所 技術研究所	技術員 理	田 尻 惟 一 君

第 I 會 場 第 1 日 (24-10-15)

時 間 講演
番 號

講演題目及講演者

午前中第1會場に併合

13.00~13.20	23	酸性平爐に於ける精鍊時間短縮に関する二三の實驗	KK 日本製鋼所室蘭製作所 同	○	前 川 靜 彌君 池 見 恒 夫君
13.25~13.45	24	「スラッグ」の鹽基度について	東京大學 (第二工學部) 助教授 同 (第二工學部)	○	松 下 幸 雄君 森 一 美君
13.50~14.10	25	熔融「スラッグ」の電気傳導度及び透電恒數について	東京大學 (第二工學部) 助教授 同 (第二工學部)	○	松 下 幸 雄君 森 一 美君
14.15~14.35	26	製鋼用電気爐を改造せるカーバイト電気爐に就て	K.K 神戸製鋼所	理	荒 木 逸 夫君
14.50~15.10	27	平爐作業に於けるフェロマンガンの取鍋添加について	日鐵八幡製鐵所 製鋼部試験掛長	工	太 田 隆 美君
15.15~15.35	28	鹽基性電弧爐に依る高炭素クローム鋼熔解法の研究	KK 日本製鋼所室蘭製作所 同	○	前 川 靜 彌君 池 見 恒 夫君
15.40~16.00	29	發生爐瓦斯平爐に於ける空氣並に酸素に依る燃焼效果に就いて	新扶桑金屬工業 K.K 製鋼所	工 工○ 工	土 居 寧 文君 菅 澤 清 志君 田 坂 鋼 二君
16.05~16.25	30	鹽基性平爐の空氣吹込操業法について	東都製鋼 KK 同 同	○	木 下 正 君 豊 島 陽 三君 野 口 祐 正君
16.40~17.00	31	鋼中に介在する硫化物に就いて	日本鋼管 K.K 川崎製鐵所 同 同	○	勝 山 隆 善君 小 石 清 君 松 川 三 郎君
17.05~17.25	32	平爐爐内燃焼狀況について	K.K 日本製鋼所室蘭製作所	工 工	館 野 萬 吉君 藤 田 春 彦君
17.30~17.50	33	大型鹽基性平爐によるワイヤローブ材の製造について	日鐵八幡製鐵所 製鋼部長 同 第一製鋼課長 同 第一製鋼課 平爐掛長 同 製鋼部 試験掛長	工 工○ 工	蜂 谷 茂 雄君 阿 部 重 藏君 相 原 滿 壽美君 太 田 隆 美君

第 I 會 場 第 2 日 (24-10-16)

時 間 講演
番 號

講演題目及講演者

9.00~ 9.20	34	珪石モルタルに就て (2)	黒崎窯業 K.K.		竹 内 清 和君
9.25~ 9.45	35	洗炭についての考察	日本製鐵 K.K 輪西製鐵所 同	工○	久 田 清 明君 太 田 滿 喜雄君

- 9.50~10.10 36 ニッケル・クロム・モリブデン鋼に於ける中間段階變態に就て
 K K 神戸製鋼所 理 高橋孝吉君
 同 〇西原守君
- 10.15~10.35 37 鐵及鋼中のマンガ定量法(學振法)の現場分析實施上の諸點に就て(1)
 日本製鐵 K.K 釜石製鐵所 工〇岩橋俊勝君
 同 山口喜次郎君
- 10.40~11.00 38 工場分析に於ける濾過に就いて(濾紙バルブによる濾過に関する實驗)
 新扶桑金屬工業 K.K 鋼管製造所 細田薰君
 同 藤沼光君
- 11.05~11.25 39 フェロマンガ中の磷迅速分析法 日本製鐵 KK 八幡製鐵所技術研究所 理博池上卓穂君
 技術員 〇永岡直君
- 11.30~11.50 40 合金鐵分析えの磷酸溶解法の應用
 日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所技術員 理博池上卓穂君
 〇永岡直君

休憩(中食)

- 13.00~13.20 41 キュボラに於けるコークス及羽口の大きさと風量風壓の關係について
 K K 日立製作所亀有工場 坂戸義憲君
- 13.25~13.45 42 轉爐と高周波電氣爐の併用に依る純鐵の製法 九州工業大學教授 工博嘉村平八君
- 13.50~14.10 43 砂型の通氣度についての一實驗
 日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所技術員 工加藤健君
- 14.15~14.35 44 鑄物砂の燒着について
 日本製鐵 K.K 八幡製鐵所技術研究所技術員 工加藤健君

休憩(10分)

- 14.50~15.10 45 高爐銑の脫硫に関する研究(第2報)
 日本製鐵 KK 八幡製鐵所技術研究所技術員 工一戸正良君
 工加藤健君
 〇福原章男君
- 15.15~15.35 46 鑄鐵中の酸素に関する二三の實驗結果に就て 三菱長崎造船所 工博木下禾大君
 同 小松久俊君
 同 〇中島益雄君
- 15.40~16.00 47 電氣爐による鋼塊鑄型の製造に就いて 三菱製鋼 KK 廣田製鋼所 工阿部芳平君
- 16.05~16.25 48 鋼中に不純物として混入せる微量元素の影響
 K.K 日本製鋼所室蘭製作所 阿部富美夫君
 同 〇川口三郎君

休憩(10分)

- 16.40~17.00 49 真空熔融法に依る鋼中の FeO の分別定量に就て 日本特殊鋼 K.K 澤繁樹君
- 17.05~17.25 50 鑄鐵中の水素分析に就て 三菱長崎造船所 工博木下禾大君
 同 同 工〇原寅吉君
- 17.30~17.50 51 鋼の耐高溫性に就て(2) 川南工業 K.K 香燒島造船所 足立次郎君
 閉會の辭(第I會場にて) 會長 山岡武君

第 II 會 場 第 2 日 (24-10-16)

- | 時間 | 講演
番號 | 講演題目及講演者 |
|-------------|----------|--|
| 9.00~9.20 | 52 (㊦) | 各種強靱鋼の熱處理に関する研究(2) 強靱鋼の燒入冷却時の變態に就いて
新扶桑金屬工業 KK 製鋼所 工〇河井泰治君
同 小川楠雄君 |
| 9.25~9.45 | 53 | アムモニヤ合成觸媒管材料について(3)
新扶桑金屬工業 KK 鋼管製造所 理 桑原春樹君 |
| 9.50~10.10 | 54 | 冷間引拔用工具(ダイス及芯金)の形狀と引拔應力との關係について
新扶桑金屬工業 KK 鋼管製造所 宇津江正夫君 |
| 10.15~10.35 | 55 | 特殊鑄鋼の研究(4) 特殊鑄鋼の鑄造組織生成の機構に就て
九州工業大學教授 工博, 工. 三ヶ島秀雄君 |

- 10.40~11.00 56 パネ鋼の研究 (3) パネ鋼の表面脱炭と機械的性質について
愛知製鋼 K.K 樋田 章君
- 11.05~11.25 57 パネ材料に関する研究 (2) 岡野バルブ製造 K.K 行橋工場 工博 堀田 秀次君
- 11.30~11.50 58 (幻)鋼塊鑄型の縦割れ防止と其の組織の變化に就いて
大同製鋼 K.K 築地工場 濱田 吉雄君

休 憩 (中 食)

- 13.00~13.20 59 高クロム鑄鐵の機械的性質に及ぼす添加元素の影響
新扶桑金屬工業 K.K 銅管製造所 理 竹原 勝治郎君
- 13.25~13.45 60 耐熱耐磨耗性高 Cr 鑄鐵の研究
K.K 神戸製鋼所 理 高橋 孝吉君
同 〇裏川 康一君
- 13.50~14.10 61 鑄鐵の熱處理による機械的性質の變化に就いて 高砂鐵工 K.K 上田 治作君
- 14.15~14.35 62 (幻)鑄鐵の凝固時に於ける黒鉛發生機構の研究並に粒狀鑄鐵の研究
九州大學工學部 教授 工博〇谷 村 潔君
同 助教授 工 松 田 公扶君

休 憩 (10 分)

- 14.50~15.10 63 (幻)軟鋼板の電解研磨の研究
東京大學 助教授 工 五 弓 勇雄君
東洋鋼板 K.K 工 吉 崎 鴻造君
同 工〇赤 松 泰輔君
- 15.15~15.35 64 熱間工具鋼 DC の焼戻軟化抵抗に及ぼす各種元素の影響
K.K 日立製作所 工博〇小 柴 定雄君
同 永 島 祐雄君
- 15.40~16.00 65 傾斜壓延に関する研究 (4)
新扶桑金屬工業 K.K 銅管製造所 研究課長 理〇池 島 俊雄君
同 森 島 達明君
- 16.05~16.25 66 (幻)リムド鋼の熱間加工性に関する研究 (3)
新扶桑金屬工業 K.K 銅管製造所 理 池 島 俊雄君
同 〇 森 島 達明君

休 憩 (10 分)

- 16.40~17.00 67 纖維組織鋼の研究 (3) 熱處理に伴ふフェライト縞の舉動に就て
三菱製鋼 K.K 東京製作所研究課長 内山 道良君
 - 17.05~17.25 68 連続加熱爐の鋼材焼減りに就て
日本製鐵 K.K 八幡製鐵所 監理部 監理課 工 設 樂 正雄君
同 〇 岡 田 小一君
 - 17.30~17.50 69 均熱爐に関する二三の熱 日本製鐵八幡製鐵所 監理部 監理課 技術員 工 設 樂 正雄君
測定に就いて 同 〇 田 中 久登君
- 閉 會 の 辭 (第 1 會場にて) 會 長 山 岡 武君

第 III 會 場 第 2 日 (24-10-16)

時間	講演 番號	講演題目及講演者
9.00~9.20	70	鍛造ロール鋼の熱處理の研究 東北大學教授 工博〇 今井 勇之進君 金屬材料研究所 大原 正志郎君
9.25~9.45	71	極軟鋼板の深絞の研究 東京大學 助教授 工 五 弓 勇雄君 東洋鋼板 K.K 工 吉 崎 鴻造君 同 工〇高 橋 久君
6.50~10.10	72	軟鋼管の冷却引抜の研究 (折返抽伸に關して) 新扶桑金屬工業 K.K 銅管製造所 工 岡本 豊彦君
10.15~10.35	73	残留オーステナイト生成機構の實驗的考察(2) 東北大學教授 工博〇 今井 勇之進君 同金屬材料研究所 工 市山 正君
10.40~11.00	74	被覆熔接棒中に於ける水硝子の分解現象とその抑制法 日本鋼管 K.K 川崎製鐵所 勝山 隆善君
11.05~11.25	75	鋼の高温着色法に就いて 京都大學教授 工博 澤 村 安君 同 工〇梅 原 雅純君

- 11.30~11.50 76 試作の熱間硬度試験機に就て 日本鋼管 KK 川崎製鐵所 ○ 兩角不二雄君
 故松下勝一君
- 休 憩 (中 食)
- 13.00~13.20 77 磨帶鋼酸洗に於ける二三の問題 日本金屬産業 K.K. 福田 健二君
- 13.25~13.45 78 鑄鐵の粉末切斷法に就いて 日本製鐵 KK 技術部 ○ 壹岐武彦君
 同 見子茂君
- 13.50~14.10 79 ギロチン型剪斷機による薄鋼板の剪斷 日鐵八幡製鐵所鋼材部 工 野口宏一郎君
- 14.15~14.35 80 殘留應力と焼入條件との關係について 日本製鐵 KK 八幡製鐵所技術研究所 技術員 工 大竹正君
 ○ 江口直記君
- 休 憩 (10 分)
- 14.50~15.10 81 鋼滓の理論 三菱長崎製鋼所 理 河合正吉君
 閉會の辭 (第1會場にて) 會 長 山岡武君

日本鐵鋼協會第38回講演大會
 出席席申込票

氏名	フリガナ	會員別	年月日
通信先番地			
勤務所及ソノ所在			
出席費	爲替全封郵送・振替拂込済		
希望見學工場(○印ヲ以テ示ス)			
第1日(10月17日)		第2日(10月18日)	
班別	工場名	班別	工場名
A	日鐵・八幡製鐵所	D	東京製鐵 K.K. 戸畑
B	長崎製鐵 K.K.	E	日本水産 K.K. 戸畑
C	安川電機製作所	F	八幡製鐵 戸畑ストリップ
	三菱化成・黑崎	G	門鐵小倉工機部
	東海鋼業 K.K.		小倉製鋼 K.K.
	九州造船 K.K.		日立製作所・戸畑
	日立製作所・若松		三菱化成・牧山
			大和工業・八幡
			東京製鐵・小倉
			東洋陶器 K.K.
			不二越 鹿延・小倉

..... 切 取 線